

香南市産業振興計画

推進分野別部会からの報告書

● 農業部会	1 ページ
● 林業部会	6 ページ
● 水産業部会	10 ページ
● 商業部会	14 ページ
● 工業部会	18 ページ
● 観光部会	22 ページ
● サイクリング専門委員会	25 ページ
● 住宅部会	29 ページ

部会開催日：R2.7.28(火)

令和2年度 第1回 香南市産業振興計画 農業部会 報告書

(令和元年度の取組に対する評価と今後の取組の方向性)

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎竹内 淳	JA 高知県香美地区園芸部	出
2	○谷間 久昭	香南市認定農業者連絡協議会	出
3	石丸 典男	JA 高知県香美地区果樹部	出
4	百田 彰和	香南市有害鳥獣被害対策協議会	出
5	鍵山 貢	JA 高知県香美地区香美営農経済センター(販売営農指導課)	出
6	日和崎 一弘	高知県農業共済組合香美支所	出
7	大崎 佳徳	高知県中央東農業振興センター 農業改良普及課	出
8	山本 茂夫	香南市農業公社	欠
9	山本 作	高知計画推進課	出

	氏名	所属	出欠
1	清藤 真司	香南市長	出
2	小松 靖生	農林水産課	出
3	小松 大洋	農林水産課	出
4	寺田 大介	農林水産課	出
5	松岡 修司	農林水産課	出
6	國常 勇太	建設課	出
7	田渕 忍	企画財政課	出
8	中川 正資	企画財政課	出
9	小林 辰徳	商工観光課	出

☆ 当日の流れ

1. 開 会

2. 議事進行

- ① 令和2年度の取り組み状況について
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う香南市の施策等について
- ③ 意見交換（令和3年度に向けた協議等含む）

3. その他

- ・ 令和2年度のスケジュールについて

4. 閉 会

○『令和2年度の取り組み状況』について【PDCA】

【P】（目標値）

- 令和2年度数値目標：『新規就農者数 10人 /年』
- 速報値（R2.6月末）：『新規就農者数 -人 /年』

【D】（実行内容）

数値目標である「新規就農者数」は、毎年10月末から11月にかけて高知県中央東農業振興センターより公表される「前年度の新規就農者数」であり、今年度の数字は確定していない。

新規就業者の獲得に向けた取り組みは以下のとおり。

- JA及び高知県農業振興センターとの情報共有及び就農相談を実施。
 - ※ 就農相談件数：12件（4月.1件 5月.5件 6月.6件）
- R2.6に市広報で周知を実施。
- R2.3末に新規就農者向けの実践型ハウスを3棟建設。

【C】（チェック/確認）

- 就農相談は6月末までに12件あったが、Uターン就農、転居後・離職後1年以内等の条件に当てはまらない方や就農を安易に考えている方が多く、新規就農者の獲得に至っていない。

【A】（アクション /改善）

- JAや高知県農業振興センターと情報共有・連携し周知を図る。
- 新農人フェア(10/17:東京、11/14 大阪)への参加や合同就農相談会において意欲ある就農希望者を探す。
- 意欲のある就農希望者には、それぞれのビジョンにあった支援について検討していく。

○取組についての意見等

【主な意見】

◇ 実践型研修ハウス整備事業について

- 実践型研修ハウスの土地にピーマンの引き込むことは可能か。
 - ▶ 研修期間満了時には元の状態に戻して土地を返却する必要があるが、引き込むことは可能。
- 実践型研修ハウスの契約が3年となっているが、本人の事情等で1年若しくは2年で契約を解除することはできるか。
 - ▶ 契約期間は「最長3年」となっているため、1年若しくは2年で契約を解除することができる。
- 実践型研修ハウスの契約の延長は可能か
 - ▶ 契約期間は最長で3年となっているため、延長はできない。
- 研修期間3年でのハウス経営は資金面で厳しいと思われるが、考慮はしているか。
 - ▶ レンタルハウス整備事業の申請条件が3年の農業実績となっているため、その期間に合わせて契約年数を3年にしている。
- 研修ハウスの東の端にあるハウスの利用状況はどのような状況か。
 - ▶ R2.7月に利用契約が行われ、フルーツマトの栽培を行っている。

◇ 園芸用ハウス整備事業について

- 現在、JAで空ハウスを探しているが、なかなか見つからない点と新規ハウスを建てるときに資金繰りが困難な点があるため、その部分も考慮していただきたい。
 - ▶ いただいたご意見を今後活かしていく。

◇ 農産物の販売力の推進(ニラ)

- そぐりセンターが稼働でニラのそぐりを行う場合と農家さんが作業員を雇用してそぐりを行う場合、どちらが安く作業をおこなえるのか。
 - ▶ 一概には言えないが、作業員にかかる経費のほうが安い。
そぐりセンターは、ニラをそぐる方々が減少傾向にある中で、労働力不足の解消にも繋げていく取組である。よって、そぐりセンターを利用する農業者も増加している。

- ニラの品質等の問題によって出荷量が減っているが、今後の出荷量の見通しについてはどうか。
 - 指導員の計画では、8月からの出荷量が30コンテナから60コンテナに出荷量が増える見通しである。
- ニラのそぐりかすによる臭いの問題が発生しているが、対処法はあるか。
 - そぐりかすをポリ袋で覆うことにより、臭いの軽減に努めている。その結果、臭いの問い合わせも減少した。

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う香南市の施策等について

○新型コロナウイルス感染症からの回復等に向けた今後の施策(案)について

【主な意見】

◇ 香南市事業者等応援給付金について

- 品目によっては、コロナの影響によらず売上が減少している品目があるため、地域にあった事業の進め方をしてはどうか。
 - 既存の香南市事業者等応援給付金は現在品目に限らず前年度比の売上減少者を対象としているため、いただいた意見を参考に組みんでいく
- この給付金は作付け面積に応じて受け取ることはできないか。
 - 現在、今年度と前年度の差額に応じての算出は行っているが、面積ベースでの算出は行っていない。
また、当市吉川庁舎に、現在、相談窓口を設置している。国の持続化給付金や当市の応援給付金について相談することもできるので、ぜひ活用いただきたい。

◇ 経営継続補助金(国)について

- 回復に努めるために、コロナの影響によらず農業機械を購入してもよいか
 - その機械を購入することによって、労働力が解消されるのであれば、購入することは可能と思われる。まずは、一度ご相談いただきたい。

○ 令和3年度に向けて

【主な意見・提案】

◇ 既存の補助事業全般に対して

- 香南市の基幹品目に対しては補助対象の事業があるが、基幹品目以外は補助対象になっていないのですべての品目を対象とするもしくは、基幹品目以外を対象とする補助事業を行うことはできないか。

- 新たな事業としていただいたご意見を参考に検討していきたいが、基幹品目でない作物は今後、売上がのびていくかの懸念点もある。

令和2年度 第1回 香南市産業振興計画 林業部会 報告書

(令和元年度の取組に対する評価と今後の取組の方向性)

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎三谷 幸寛	香美森林組合	出
2	○西岡 洋典	高知県中央東林業 事務所 振興課	出
3	清藤 好弘	香美森林組合 理事	欠
4	恒石 健一	林道愛護員(夜須町担当)	出
5	久保 肇	WOOD LIFE	欠
6	井上 美穂	公益財団法人 高知県森と緑の会	出
7	堀田 幸生	雑木バードカービング作家 森林環境学習講師	出
8	山本 作	高知県産業振興推進部 計画推進課	出

	氏名	所属	出欠
1	小松 靖生	農林水産課	出
2	小松 大洋	農林水産課	出
3	児玉 亮太	農林水産課	出
4	三谷 啓介	農林水産課	出
5	田渕 忍	企画財政課	出
6	中川 正資	企画財政課	出
7	小林 辰徳	商工観光課	出
8	田中 菜生	商工観光課	出

☆ 当日の流れ

1. 開 会

2. 議事進行

- ① 令和2年度の取り組み状況について
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う香南市の施策等について
- ③ 意見交換（令和3年度に向けた協議等含む）

3. その他

- ・ 令和2年度のスケジュールについて

4. 閉 会

○『令和2年度の取り組み状況』について【PDCA】

【P】（目標値）

- 令和2年度数値目標：『間伐面積 25ha』
- 速報値（R2.6月末）：『 - ha』

【D】（実行内容）

- 新型コロナウイルスの影響により木材価格が低下し、搬出間伐が実施しづらい状況であることから、保育間伐に重点を置き間伐事業を実施する必要がある。
このことから、緊急間伐総合支援事業費補助金における保育間伐の補助メニューの新設に向けた調整を行った。
- 搬出間伐が実施しにくい状況の中で、施業地の確保、及び雇用維持に向けて、市有林間伐の実施に向けた調整を行った。
- 令和3年度に実施する森林管理制度間伐委託事業の施業地の選定の準備を実施。

【C】（チェック/確認）

- 緊急間伐総合支援事業における保育間伐実施に際して、森林環境譲与税を活用し、補助率100%となる新規事業を新設。

【A】（アクション /改善）

- 数値目標である間伐面積 25ha の実施に向け、緊急間伐総合支援事業費補助金を活用した保育間伐(香我美町撫川・舞川、夜須町仲木屋周辺を予定)、及び市保有林の間伐(香我美町撫川カナツキ)を実施する。
- 令和3年度の森林管理制度間伐委託事業の実施に向け、意向調査完了後に香美森林組合と協議し、「経営が成り立たない森林」のおおよその場所を抽出し、森林境界明確化完了後に施業地を確定する。

○各取組についての意見等

【主な意見】

◇ 緊急間伐総合支援事業費補助金について

- 森林環境譲与税を充当して市独自の補助金メニューを作った場合、県独自の森林環境譲与税が充当されている高知県緊急間伐総合支援事業を活用できない。
 - 新設する補助メニューが市単独の部分なので問題ない。

◇ 木育事業について

- 資料1の7ページの総括「C」には、「授業時間に余裕がない」との記載があるが、各学校を回り、校長先生等と話をした際は体験学習について良い反応が得られた。一概に授業時間が足りないということではないのではないかと。
 - 再度、個別に各学校に問い合わせを行い、回答をいただく。回答があった学校から順次体験学習を開催する。
- 香南市内の山等で植樹体験や間伐体験ができる場所があれば、今後木育事業を実施したい。
 - 植樹や間伐とは別だが、以前、大日寺周辺にタケノコ掘り体験等を実施していたフィールドがあり、今後、事業の展開を検討する。また、香美森林組合に協力してもらい、間伐ができるような場所を探していく。
 - 私有地でも可能であれば、ご検討いただいてもかまわない。(委員)
- ※ 1回の間伐体験授業は、往復時間含め半日程度時間要することもある。今後、詳細を伺い検討する。
- ※ 後日、委員立ち会いのもと、現地確認を実施し、小学校高学年や中学校の生徒が間伐体験を実施できそうな場所であることを確認済。
- 木育事業については、赤岡保育所等で遠足の中に木育活動を実施している。この事業に対しては、保・幼・小・中学校側も前向きと認識している。また、例年実施している「緑の募金活動」は、コロナ禍ではあるが、本年度も企業を回って協力をいただく予定だが、事前に体験学習等の木育事業による実績を重ね、企業に示すことができれば、募金のご協力をいただける可能性が高い。

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う香南市の施策等について

○新型コロナウイルス感染症からの回復等に向けた今後の施策(案)について

【主な意見】

◇ 新型コロナウイルス対策森林整備推進事業について

- 新型コロナウイルス対策森林整備促進事業は林業事業者が施業地を探さないといけないのか。
 - 事業者で探していただくことになる。

◇ 香南市の森からの贈り物事業について

- おもちゃの制作にあたり、木工業者は複数業者に依頼する予定か。
 - 香南市には木工業者がないことから、香美市の(株)なかよしライブラリーに依頼することを予定している。
- 新生児一人ひとりに木のおもちゃを贈るのは良いことだと思うが、保育園等に木馬を贈る等の取り組みもよいのではないか。
 - 予算等と照らし合わせながら検討する。

◇ 新規事業の提案について

- 意見なし

○ 令和3年度に向けて

【主な意見・提案】

◇ 森林環境の保全に向けた取り組み

- 意向調査、森林境界明確化の実施により、森林管理事業を推進する。
- 新型コロナウイルス対策森林整備推進事業の補助金を活用し、保育間伐・搬出間伐などの間伐事業を拡充する。

◇ 山や森林に親しむ機会の提供

- 木育事業において市内の保・幼・小・中学校の授業や行事での森林体験学習を実施し、木育を推進する。また、香南市の新生児に対して、木のおもちゃを贈呈する

部会開催日:R2.7.30(木)

令和2年度 第1回 香南市産業振興計画 水産業部会 報告書

(令和元年度の取組に対する評価と今後の取組の方向性)

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎山下 太造	高知県漁業協同組合 赤岡支所長	出
2	○仙頭 美香	高知県漁業協同組合 手結支所長	出
3	本田 和仁	赤岡バッチ組合船主会 会長	出
4	野村 操	吉川町バッチ網船主会 会長	出
5	浜口 信義	手結地区漁業者(シイラ漁)	出
6	中山 勝道	住吉地区漁業者(養殖業)	出
7	北垣 博則	ジャコ加工業者	出
8	加地 正人	シイラ加工業者	出
9	岡村 雄吾	高知県水産振興部中央漁業指導所 所長	欠
10	山崎 美姫	高知県計画推進課 地域支援企画員	出
11	公文 雅貴	(一社)高知県漁業就業支援センター マネージャー	出

	氏名	所属	出欠
1	小松 靖生	農林水産課	出
2	小松 大洋	農林水産課	出
3	澤田 卓	農林水産課	出
4	徳久 歩未	農林水産課	出
5	小林 辰徳	商工観光課	出
6			
7			
8			
9			
10			
11			

☆ 当日の流れ

1. 開 会

2. 議事進行

- ① 令和2年度の取り組み状況について
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う香南市の施策等について
- ③ 令和3年度に向けた協議について

3. その他

- ・ 令和2年度のスケジュールについて

4. 閉 会

○『令和2年度の取り組み状況』について【PDCA】

【P】（目標値）

- 令和2年度数値目標：『沿岸漁業総生産額 285 百万円』
- 速報値（R2.6 月末）：『沿岸漁業総生産額 31 百万円』

【D】（実行内容）

数値目標である「沿岸漁業総生産額」は、6 月末時点で 31 百万円となっている。

（地産の強化）

- 円滑な漁業活動が行えるよう漁港・水産機能施設の改修工事の発注を一部実施。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、「水産業活力支援事業費補助金」「漁業災害対策資金 利子補給金」の検討を実施

（流通販売の強化）

- コロナウイルス感染症の影響について水産関係者へのヒアリングを実施。
- かりりじゃこの学校給食への試験的な納入を開始

【C】（チェック/確認）

- 沿岸漁業総生産額は、前年同月末比 31%と大きく減少している。これは、赤岡・吉川のイワシシラスの生産額が例年より大幅に減少していることに加えて、昨年同時期は例年になく豊漁だったこともあり、大幅な減少の要因となっている。

【A】（アクション /改善）

- 新型コロナウイルス感染症の影響の克服や、「新しい生活様式」に対応するために、「新しい生活様式」に適合するような商品（通販・持ち帰り可能品等）を開発することで、市内水産物の利活用を促進させ、もって地域の水産業の振興及び経営安定を図ることが必要である。

○取組についての意見等

【主な意見】

◇ 流通販売の強化について

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外食産業の停滞により、そこへメインで水産加工品を納入している者は影響を受けている。今後は量販店向けのルート及びコロナ対策としての衛生管理についても考えていく必要がある。
 - 香南市産業振興計画推進事業費補助金が活用可能である。
今後は、国が示す「新しい生活様式」に対応するために、これに適合するような商品（通販・持ち帰り可能品等）を開発していくことも必要である。

◇ 担い手の確保について

- 新型コロナウイルスの影響で、新規漁業就業者の状況はどうなっているか。
 - この4月から就業支援センターで新たに支援している方は0人である。
また、新規就業された方も今後漁業をどういった計画で続けていけるのか不安になっている。
コロナ対策の持続化給付金も前年度と比較できないため受給できない状況もある。
このような方の対応も含め考えていかなければならない。（漁業就業支援センター）
（香南市では就業希望者及び昨年度就業者はなし。）

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う香南市の施策等について

○新型コロナウイルス感染症からの回復等に向けた今後の施策(案)について

【主な意見】

◇ 県産水産物の学校給食提供推進事業について

- 県の事業であるが、他魚種を含めて検討してはどうか。
 - この事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている県内の養殖魚の活用を目的としたものであるため、現在のところタイ・ブリ・カンパチに限定されています。
今回いただいた意見も踏まえて今後の状況を注視していく。

○ 令和3年度に向けて

【主な意見・提案】

◇ 市内水産物の魚価向上について

- イワシシラスが集中してたくさん獲れる時期があるが、加工能力等により全てをお金にかえられていない現状。
今後は関係者グループでこの現状をどうしていくか、話し合いの場を持つてはどうか。
 - 船主会を通じて、関係者と現状を共有していくことも必要である。

- 漁協や漁業者が付加価値をつけるために考えても限界がある。
専門家にアドバイスを受けられるようになればよいと考える。
 - シイラの活用については、県産業振興計画地域アクションプランに位置付けられており、高知県産業振興アドバイザー制度を活用できる。

- 人と接しない販売の仕方や加工品の開発等に係る経費についての支援はないか。
 - 香南市産業振興計画推進事業費補助金で支援が可能。
今後は、国が示す「新しい生活様式」に対応するために、これに適合するような商品（通販・持ち帰り可能品等）を開発していくことも必要である。

◇ 担い手の確保について

- 研修制度は現在1年程度となっているが、漁業を習得するまでには何年もかかるのが現状。研修できる体制を3年程度へと改めることはできないか。(要望)
 - 研修期間については、漁業種別により考えていく必要があるが、期間を単純に延ばすことは難しい。(漁業就業支援センター)

部会開催日：R2.8.5(水)

令和2年度 第1回 香南市産業振興計画 商業部会 報告書

(令和2年度の取り組み状況と新型コロナウイルス感染症の影響に伴う施策について)

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎ 仙頭 秀雄	香南市商工会	出
2	○ 福井 律	お菓子と雑貨おひさん	出
3	門田 直也	(有)カーライフ マルオカ	欠
4	近藤 洋好	旅館かとり	出
5	桂 信太郎	高知工科大学	出
6	中内 健司	(株)高知銀行 野市支店	出
7	塚本 裕司	高知県商工労働部経営支援課	出
8	山崎 優姫	高知県産業振興部計画支援課	出

	氏名	所属	出欠
1	岡林 栄一	商工観光課	出
2	萩野 大輔	商工観光課	出
3	山下 剛	商工観光課	出
4			
5			
6			
7			
8			

☆ 当日の流れ

3. 開 会

4. 議事進行

- ④ 令和2年度の取り組み状況について
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う香南市の施策等について
- ⑥ 意見交換（令和3年度に向けた協議等含む）

3. その他

- ・ 令和2年度のスケジュールについて

4. 閉 会

○『令和2年度の取り組み状況』について【PDCA】

【P】（目標値）

令和2年度数値目標：

『 商業者数 817 事業者 （R6年度末） 』

『 事務系企業誘致数 累計 10 企業 （R6年度末） 』

数値目標(単位)	基準値 (H30年度末実績値)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
① 商業者数(事業者) ※日本標準産業分類(大分類)の F~O・Q・Rに分類される事業者	813	813	814	815	816	817	817 (R6年度末)
② 事務系企業の誘致(企業)	-	2	2	2	2	2	10(5年間累計)

○ 速報値（R2.6月末）：

『 商業者数 — 』

『 事務系企業誘致数：1社 』

【D】（実行内容）

（目標値について）

- 商業者数については、今年度の数値が出ていないため、令和2年6月末現在の評価は示していない。
- 合同会社NGSが道の駅やす E棟でR2.4.1より創業を開始し、事務系企業誘致数は1社となっている。

（空き店舗対策）

- 商店街等振興計画の策定に向けて高知県と事前協議を実施。
- 空き店舗等対策事業費補助金の周知(市HPへの掲載)
- オンライン交流イベント(ITの仕事×ライフスタイル)へ参加し、オンラインで香南市の特徴や補助制度の説明を行った。

(担い手の確保・育成)

- 香南市未来人材育成奨学金返還助成金に関して、補助対象を新卒者のみから満 40 歳までの中途採用者までに対象を拡充。

(商業支援)

- 新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている飲食業等の支援を行うため、既存イベント「香南カーニバル」事業の事業内容を見直し・拡充。
- 中小企業信用保険法に基づく、セーフティネット認定申請の受付・認定を実施。

(その他)

- 新型コロナウイルス感染症対策として、国持続化給付金の対象とならない範囲で売上減少している事業者に対して、香南市事業者等応援給付金制度を創設し、法人最大 40 万円、個人最大 20 万円の支援を実施。その他、小規模事業者持続化補助金への市独自の上乗せ補助や先端設備導入にかかる費用の補助金制度等を創設。
- 市商工観光課に市商工会と共同で、香南市事業者相談窓口を設置し、国持続化給付金や家賃支援給付金の申請サポートや経営等にかかる相談受付を実施。

【C】 (チェック/確認)

- 新型コロナウイルス感染症の影響による事業者等への支援事業を優先し、当初予定していた各事業への取り組みができず、本年度での実施を見送った事業がある。
- 各補助制度の周知が十分でなく、問い合わせ等が少ない。

【A】 (アクション /改善)

- 新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、取り組める事業に取り組んでいく。
- これまでの既存補助制度や新型コロナウイルス感染症対策事業の周知を図るため、商工会会報誌へのチラシ折込や市広報誌への掲載、企業訪問による事業説明等を行う。
- 事務系企業誘致については、首都圏等にある企業への訪問ができないため、オンラインで事業説明等を行う等の新しい生活様式での取り組みが必要。

○取組についての意見等

【主な意見】

- ・現状では、何か新しい取り組みというよりも、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者を守るための取り組みにより力を入れていく必要があるのではないか。

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う香南市の施策等について

○新型コロナウイルス感染症からの回復等に向けた今後の施策(案)について

【主な意見】

- 国・県・市等から様々な支援制度ができていますが、その数が多すぎて内容等がすごくわかりづらくなっている。
- 消費者側のマインドとしても、感染を恐れて外食を控えている人が多いと思う。そういった部分も含めてフォローが必要ではないか。
- 市給付金事業等にしても、申請できるのに申請していない方やそもそも制度を知らない人がいると思うので、制度の周知により取り組んでいく必要がある。
- このまま新型コロナウイルス感染症の影響が長引けば、廃業を選択する事業者も出てくると思われる。
- 感染症対策をしても感染リスクは「0」にできず、従業員も高齢の方が多いため、国のGoToキャンペーンへの参加を見合わせている。

○ 令和3年度に向けて

【主な意見・提案】

- 現在、新型コロナウイルス感染症の影響で創業にかかる融資のハードルが高くなっている。これまでは、この業種であれば月 100 万程度の売り上げが見込めたのに、新型コロナウイルス感染症の影響で通常見込める売上げの6割程度しか見込めないことから、事業計画等が通りにくくなっている。
 - ▶ 創業時の負担を軽減し創業を促すために、創業支援にかかる新たな補助制度の創設を検討する。

部会開催日:R2.7.31(金)

令和2年度 第1回 香南市産業振興計画工業部会報告書

(令和元年度の取組に対する評価と今後の取組の方向性)

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎黒原 正仁	YAMAKIN株式会社 高知管理部 課長	出
2	○吉田 元雄	香南市商工会 工業部会長	出
3	川久保 武志	カワクボFACTORY株式会社 代表取締役社長	欠
4	小堀 勝幸	四国職業能力開発大学附属 高知職業能力開発短期大学校 能力開発部長	出
5	岩崎 佳世	公益財団法人高知県産業振興センター 経営支援部経営支援課 課長	出
6	西村 幸祐	香南市商工会 経営指導員	出
7	五島 一成	株式会社精工 高知工場 工場長	出
8	安藤 潮	高知県計画推進課 地域支援企画員	出

	氏名	所属	出欠
1	岡林 栄一	商工観光課	○
2	萩野 大輔	商工観光課	○
3	小林 辰徳	商工観光課	○
4	岡崎 環	商工観光課	○

☆ 工業部会の開催内容

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議事進行

- ① 令和2年度の取り組み状況について
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う香南市の施策等について
- ③ 令和3年度に向けた協議等

4 その他

- ・ 令和2年度のスケジュールについて

5 閉 会

○『目標数値』に対する精査について【PDCA】

【P】（目標値）

○ R2 年度数値目標：『製造品出荷額 360 億円以上』

『新規雇用者数 5 人以上』

○ 実績値：『製造品出荷額 -』

『新規雇用者数 16 人』

○ 評価：『製造品出荷額 -』

『新規雇用者数 A』

【D】（実行内容）

目標値（製造品出荷額等）360 億円に対し、令和元年の実績値は未だ公表されていないことから、令和2年6月末現在の評価は示していない。

（※令和元年中の製造品出荷額等の数値は令和3年2月頃に工業統計より公表予定）

新規雇用者数については、4月1日現在で16人の新規雇用があり、目標値を上回った。

○ 企業誘致の促進

新規工業団地整備事業については、候補地を選定するため、適地調査に着手した。

川谷刈谷地区工場用地分譲については、分譲用地の地積更正及び合筆手続きを行っている。

○ 既存企業の育成・支援

新型コロナウイルス感染症の影響により、十分な周知、取り組みができていない。

コロナ支援策として、設備投資を支援する補助金を制定した。

<具体的な取組>

- ・ 香南市工業団地適正地検討資料作成委託業務（6/1 契約）
- ・ 川谷刈谷地区工場用地分譲用地の地積更正及び合筆
- ・ 未来人材育成奨学金返還助成事業補助金交付要綱の一部改正（対象年齢引き上げ）

- ・ 香南市先端設備等導入支援事業費補助金を制定

【C】（チェック/確認）

○ 企業誘致の促進

新規工業団地整備事業については、場所決定後、県の補助金を活用して基本構想委託業務を発注する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、県が予算を削減したため、本年度は行えない。（令和3年度に実施予定）

○ 既存企業の育成支援

新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、商談会、ものづくり教育推進事業等を見送っており、企業訪問も自粛したため、各種事業については十分な周知ができていない。

【A】（アクション /改善）

○ 企業誘致の促進

5箇所の候補地について、①面積 ②概算工事費 ③法指定状況 ④交通アクセス に重点を置いて新規工業団地の場所を決定する。

川谷刈谷地区工業用地については、分譲面積が確定次第分譲を開始し、早期の企業立地を目指す。

○ 既存企業の育成支援

下半期に予定している懇談会や合同企業説明会を開催するとともに、各種支援事業の利用件数増加に繋がるよう、関係機関と連携して事業紹介の強化を図っていく。

<7月以降の主な取組内容>

- ・ 新規工業団地の場所決定
- ・ 川谷刈谷地区工業用地の分譲、公募要領の作成、財産処分議案提出
- ・ 企業誘致条例の改正
- ・ 立地企業懇談会の開催
- ・ 各種支援事業の利用増加に繋がる周知
- ・ 合同企業説明会（高知県、城山高校）の開催

○ 取組についての意見等

【主な意見】

◇ ものづくり教育推進事業

- 工場見学については、見学の問合せもある。学校は早めに計画を立てるので、冬休み、春休みも含めて長期的に取り組んでいただければと思う。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、スケジュール的に難しく、また、受入側も感染が確認された場合の工場停止の可能性もあるが、工場見学等も中止することで、子どもの可能性を摘む事になる。心配過剰になっては何事も進まないなので、心配過剰になりすぎないように。

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う香南市の施策等について

○新型コロナウイルス感染症からの回復等に向けた今後の施策(案)について

◇ 商談会開催事業について

- 新型コロナウイルス感染症によって商談会の開催、参加が難しくなっており、オンライン商談会が今後主流になってくると思われる。
- オンライン商談の際には各企業のウェブサイトが重要になる。
- 香南市ものづくりネットワークのウェブサイトを活用した情報発信やオンライン商談会等に対応する取組を行ってはどうか。

◇ 補助事業の現状について

- 工業分野では「換気に関する設備投資」が多い。防音対策のため密閉されており、産業用換気扇をつけているところは少なく、取り付け費が高額となる。
先端設備導入に係る補助金はあるが、換気扇は単純構造であり対象設備にはならないため支援策の一つとなりえる。

○ 令和3年度に向けて

- 新型コロナウイルスの影響を受け落ち込んでいる事業所がある一方、特需となっている事業所もあり、工業分野全体の実態がつかみにくい。
企業訪問や関係機関等より情報収集を行い、必要な支援策を講じていく。

部会開催日:R2. 8.5(水)

令和2年度 第1回 香南市産業振興計画 観光部会 報告書

(令和元年度の取組に対する評価と今後の取組の方向性)

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎森尾 美紀	香南市観光協会	出
2	○塩井 政利	香南市歌舞伎でまちおこし 実行委員会	出
3	吉村 和久	高知県立のいち動物公園協会	出
4	長山 哲雄	高知工科大学	欠
5	大石 祥子	香南市商工会	出
6	岡林 順子	創造広場「アクトランド」	出
7	安藤 潮	高知県産業振興推進部計画推進課	出
8	永野 裕介	土佐くろしお鉄道株式会社	出
9	坂本 辰也	リゾートホテル海辺の果樹園	出
10	北岡 智美	物部川 DMO 協議会	出
11	中村 文昭	サイクリング専門委員会	出

	氏名	所属	出欠
1	岡林 栄一	商工観光課	出
2	萩野 大輔	商工観光課	出
3	伊藤 正和	商工観光課	出
4	田中 菜生	商工観光課	出
5	小林 辰徳	商工観光課	出
6	伊福 正哲	商工観光課	出
7			
8			

☆ 当日の流れ

5. 開会

6. 議事進行

- ⑦ 令和2年度の取り組み状況について
- ⑧ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う香南市の施策等について
- ⑨ 意見交換（令和3年度に向けた協議等含む）

3. その他

- ・ 令和2年度のスケジュールについて

4. 閉会

○『令和2年度の取り組み状況』について【PDCA】

【P】（目標値）

- 令和2年度数値目標：『観光施設入込客数 107万人 /暦年』
- 速報値（R2.6月末）：『観光施設入込客数 42.9万人 /暦年』

【D】（実行内容）

- 新型コロナウイルス感染症の影響で今年度計画をしていたイベント等はすべて中止になっている。

【C】（チェック/確認）

- 新型コロナウイルス感染症の影響で今年度計画をしていたイベント等はすべて中止になり、閉館していた施設もあり、観光施設入込客数は減少している。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で特に3月以降は、実績値が26.5万人、前年度比68%となった。（前年度同時期 38.6万人）

【A】（アクション /改善）

- 新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでいる市内における観光需要喚起策として、感染の状況を見極めつつ、「香南市に泊まってもらおうクーポン券配布事業」、「香南市で遊ぼう割♪キャンペーン事業」、「香南市観光テレビで全国PR事業」を行う。
- 「宿泊事業者支援給付金」、「タクシー・観光バス事業者支援給付金」事業を実施し、宿泊施設や、タクシー・観光バスでの衛生管理対策や魅力向上することにより、観光客が安心して香南市で、周遊・宿泊できることで、誘客促進および観光産業の回復を図る。

○取組についての意見等

【主な意見】

意見なし

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う香南市の施策等について

○新型コロナウイルス感染症からの回復等に向けた今後の施策(案)について

【主な意見】

◇ 泊まってもらおうクーポン券事業について

- 県外客も対象になりますか。また、商品券はどこで配布するのか。換金方法や使用できる店舗は？
 - 一人でも、グループでも 6,000 円/泊以上の宿泊に対して、地域で使える商品券を 1 枚配布。1 泊につき、1 人上限 1 枚となる。
例えば、1 人の方が 1 泊 6 千円の宿泊をした場合は 1 枚、1 泊 12,000 円でも 1 枚となる。また、2 人で 1 泊合計が 12,000 円の場合では 2 枚となります。
商品券はホテルへ預けさせて頂きたい。
使用できる店舗は、プレミアム商品券が利用出来る店舗を想定しており、換金は指定金融機関で換金出来るように調整している。

◇ 泊まってもらおう、遊ぼう割、ビュッケーニバルについて

- お客様にどのようにプロモーションして、どう発信するのか。情報が伝わりにくいのは問題。
 - 遊ぼう割、泊まってもらおうキャンペーンは、事業者同士で連携し宣伝して頂きたい。

○ 令和3年度に向けて

【主な意見・提案】

発信力の強化は課題となっている。
来年度に向けた検討を行っていく。

会開催日:R2. 7.29(水)

令和2年度 第1回 香南市産業振興計画 サイクリング専門委員会 報告書

(令和元年度の取組に対する評価と今後の取組の方向性)

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎中村 文昭	MAZE-CLE	出
2	○榮枝 俊一	香南市サイクリングターミナル	出
3	富山 明秀	(株) 技研製作所	出
4	内村 幸子	創造広場「アクトランド」	欠
5	山根 大輔	高知シクロクロス実行委員会	出
6	中畠 益男	(公財)高知県観光コンベンション協会	出
7	大崎 優	高知大学地域連携推進センター 高知県サイクリング協会	出
8	久家 英生	香南市交通安全指導員協議会	出
9	弘瀬 沙也香	香南市 観光協会	出
10	安藤 潮	高知県産業振興推進部 計画推進課	出

	氏名	所属	出欠
1	岡林 栄一	商工観光課	出
2	伊藤 正和	商工観光課	出
3	田中 菜生	商工観光課	出
4	伊福 正哲	商工観光課	出
5	齋藤 光明	商工観光課	出
6	小林 辰徳	商工観光課	出
7			
8			

☆ 当日の流れ

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議事進行

- ① 令和2年度の取り組み状況について
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う香南市の施策等について
- ③ 令和3年度に向けた協議等

4 その他

- ・ 令和2年度のスケジュールについて

5 閉 会

○『令和2年度の取り組み状況』について【PDCA】

【P】（目標値）

○ 令和2年度数値目標：『 サイクルイベント大会参加者数 500人 /年 』

『 サイクルサポーター数 10団体 /年 』

○ 速報値（R2.6月末）：『 サイクルイベント大会参加者数 0人 /年 』

『 サイクルサポーター数 6団体 /年 』

【D】（実行内容）

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で今年度計画をしていたイベント等はすべて中止になっている。
- ・ サイクルサポーター養成のきっかけづくりも新型コロナウイルス感染症の影響で開催できない。

【C】（チェック/確認）

- ・ 数値目標である「サイクルイベント参加者数」の実績は0となっている。
- ・ サイクルサポーターは以前までの取り組みから6団体。

【A】（アクション /改善）

- ・ 新型コロナウイルス感染症の推進では、軽微な運動等を推奨していることから、大規模でなく小規模のポタリングや健康サイクリング等から準備を行い、開催につなげていく。
- ・ サポーターは小規模イベントの開催時に要請を図っていくとともに、サイクルスタンドの設置推進を一緒に行っていく。

○取組についての意見等

【主な意見】

◇ サイクルツーリズムの推進

- イベントが中止になっている。抜本的にコロナに向き合う取り組みが必要ではないか。
 - ▶ イベントを小規模化していく等、コロナを逆手に取ってチャンスと捉え、いろいろな取組を行うのはどうか。

- レンタルサイクルについて、観光とそれ以外を分けることはできないか？
 - のいち駅の数、利用件数なので、観光なのか、日常の移動手段としてなのかまでの内訳は分からないが、日常利用者から観光へとつなげるきっかけにもなると考えている。

◇ サイクリストにやさしい観光の充実

- ブルーライン以外に、分かりやすい看板があると良い。
- 直島のようにブルーラインではないが、エリア分けて目的地に誘導する手法もある。
 - 看板等と併用しながら、分かりやすく誘導することを検討していく。

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う香南市の施策等について

○新型コロナウイルス感染症からの回復等に向けた今後の施策(案)について

【主な意見】

意見なし

○ 令和3年度に向けて

【主な意見・提案】

◇ サイクルツーリズムの推進

- シクロクロスなど大きな大会は開催が難しい。小規模開催だと、資金が折り合わない。
 - 今後、市民向けの小規模な自転車に親しみを持ってもらえるイベントを開催したい。

◇ 自転車を活用した健康づくり

- 今年度より、市内小中学校のヘルメットが流線型のものに変わった。以前より議題としてあがってきたことが、形になった一方で、高校生が着用していないのを目にする。高校生の自転車の死亡率が高いので、ヘルメット着用を広めていきたい。
 - 自転車活用推進計画を策定していく中で、高校生のヘルメット購入補助も考えている。

◇ サイクリストにやさしい観光の充実

- サイクリングロードとサイクリングロードをつなぐ目印がほしい。
- ヤ・シィパークから西にサイクリングロードが延伸したことを知らない人もいる。分かるようにライン等を引いたらよいのではないかと。また、ヤ・シィパークから新しいサイクリングロードが

分かりにくいので、看板等があれば良いと思われる。観光協会への問い合わせ等もある。

- ヤ・シイパーク内の設置については、(株)ヤ・シイが現在検討されている「グランドデザイン」等に含めて検討いただけないか要望を行っていく。
- 月見山こどもの森の活用は考えられないか。現在の施設内へのマウンテンバイクコースの設置やレース、体験を検討してみたいかがか。
 - 管理先が高知県であることから、いただいた要望について協議を図っていく。

部会開催日:R2.7.15(水)

令和2年度 第1回 香南市産業振興計画 住宅部会 報告書

(令和元年度の取組に対する評価と今後の取組の方向性)

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎松本 展明	建設課	出
2	岡崎 伊知郎	住宅管財課	出
3	小川 哲弘	地域支援課	出
4	近森 康世	防災対策課	出
5			

	氏名	所属	出欠
1	田淵 忍	企画財政課	出
2	中川 正資	企画財政課	出
3	小林 辰徳	商工観光課	出
4			
5			

☆ 当日の流れ

1. 開 会

2. 議事進行

- ① 令和元年度の取組状況 と 令和2年度の進捗状況について
- ② 新型コロナウイルス感染症からの回復に向けた今後の施策(案)について
- ③ 意見交換

3. 閉 会

○『令和2年度の取り組み状況』について

◆ 住環境の整備

- ☆ 住宅リフォーム推進事業は順調に推移をしており、人気の高い取組となっている一方で、新型コロナウイルスの影響により、資材などが手薄になっている状況もあり、市営住宅への対応は遅れが生じている。
また、宅地造成事業では、野市町以外で、今年度中に対象地の選定を目指し取り組んでいる。

◆ 住環境の整備耐震化事業

- ☆ 耐震化事業については、第1期で一定進んできていた影響もあり、申請は減少傾向にある。

◆ 空き家対策事業

- ☆ 空き家バンク事業については、新規登録件数増加のために、移住相談員による空き家調査を実施し、活用できる空き家の掘り起こしに取り組んでいる。また、オンライン相談窓口を開設し、空き家バンク等の移住相談への対応をしている。
- ☆ 空き家改修事業については、相談窓口での制度説明等により申請件数の増加を図っている。

○ 令和3年度に向けて

◆ 住環境の整備

- ☆ 新型コロナウイルスの影響をうけている事業もあるが、各事業の目標値に対するPDCAサイクルを今後も進めていき、目標の達成へとつなげていく。

◆ 住環境の整備耐震化事業

- ☆ 引き続き、耐震の重要性に向けた周知を図り、「香南市耐震改修促進計画」に沿った達成を目指し取り組んでいく。

◆ 空き家対策事業

- ☆ 今後も制度の周知を継続し、まちづくり協議会など地域との連携による活用可能な空き家の掘り起こしや改修事業の推進に取り組んでいく。